

2023年度 第4回 南の星小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2024年2月16日（金）14時30分～15時40分まで
- 2 開催場所 南の星小学校 会議室
- 3 出席委員 小林睦夫、原川翼、井口裕士、佐藤政美、澤井友美、石井恭子、
- 4 欠席委員 鈴木美佐男、鈴木アリネ、NARAROSA
- 5 オブザーバー 角屋善紀（五島協働センター所長）
- 6 学校 竹村元清（校長）、長坂明典（教頭）、林裕一（CS担当教員）
井上美和（CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木陽子（教育教務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議記録作成者 CSディレクター 井上美和
- 10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、小林委員が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1) 学校関係者評価について
- (2) 来年度に向けての学校支援活動について
- (3) 学校運営協議会の自己評価について

12 会議記録

司会のCS担当教員から、委員総数9名より6名の出席があり、過半数に達している為、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校関係者評価について

議長の指示により、CS担当教員から南の星小学校向上プラン（案）における学校関係者評価について、別紙の資料に基づき説明があった。

委員から、以下の発言があった。

・ドッジボールによる突き指や骨折などがみられるとあるが、ドッジボールで使用するボールの使い方のコツなど話さないといけない状況なのか？（原川委員）

→昔と比べて柔らかいボールを使用している。当たると痛みは軽減されるが、投げる力加減が分からず、怪我につながることも多い。（CS担当委員）

・いじめ防止の取り組みについて、南の星小学校として何か特別な対策はしているのか？（小林委員）

→いじめについてのアンケートを6, 11, 2月に実施した。

アンケートでは上がらなかったが、保護者から担任への報告と言う形で2件上がった。どちらも1学期に認知し、1件は2学期に解消、もう1件は3学期に解消され、現在0件となっている。職員間での情報交換として、月1回いじめ対策委員会を実施し、全職員での共通理解を深めている。(校長)

・いじめ防止の取組について、日常の指導のおかげで子供たちも安心してとうこうできると思う。今後も続けてほしい。(小林委員)

・いろいろやられていると思う。授業が楽しいと思っている子が80%あるのはいいと思う。(井口委員)

・テストにおける基準は独自に設けたりしているのか？主に市販のペーパーテストを使っているのか？個別指導は行っているのか？(井口委員)

→外国人は取り出して、教科書の補助的な指導を行っている。助勤の関係もあるが、ここ5、6年は週1回実施し、約20%の学力の底上げに繋がっている。(校長)

・市販のテストで8割超えるのはとても難しい。勉強したらできることが目で見えるもの(小テスト等)を実施し、子ども自身が成長を実感できるような工夫が必要。(井口委員)

・昼休みの遊びも、ドッジボールや縄跳び、一輪車など、限定されてしまっている気がする。危険の観点からすると仕方がないと思うが、もっと遊びの幅が広がるといいと思う。(井口委員)

・挨拶意識が80%以下と低下がみられている。それはなぜか？(小林委員)

→日常生活の中で慣れてしまい、形だけになってしまった。する子としない子がはっきり出てきてしまった。高学年は恥ずかしさもあり、挨拶が以前よりも前向きになっていないこと等がある。(CS担当委員)

・ソーシャルスキルの活動として、具体的にどのような活動を行っているのか？(井口委員)

→1、6年のペア活動や、幼稚園、浜松特別支援学校等の交流を行っている。継続した縦割り活動は現在実施していない。運動会など、場面に応じたペアリングの縦割りはその都度実施している。(CS担当委員)

(2) 来年度の学校運営の基本方針の説明

議長の指示により、校長から学校教育目標と重点目標、本校の実態について、資料に基づき説明があった。

委員から以下の意見があった。

・来年度、学校全体のクラス数の減少に伴い、フリー教員が2人から1人となるとのことだが、フリー教員が仕事量の増加でどうにもならなくなった場合はどうなるのか？(小林委員)

→産休や病気での長期休みの場合は、補充もあるが、市全体で人材が不足している現状がある。(校長)

・代替職員がないので、市で派遣が難しい。なかなか厳しい状況。(鈴木陽子様)

※協議の結果、これを承認した。

(3) 学校運営協議会の自己評価について

議長の指示により、原川会長から学校運営協議会の自己評価について、資料に基づいて説明があった。

学校側から以下の意見があった。

・地域の皆さんが、学校支援活動におけるさまざまな問題を捉えていて、こちらもいい勉強になった。(校長)

・文章に書かれた通りだと思う。学校の実態を近く感じていただいたのは、大きな前進。上手にマッチングさせ楽しくなるような取り組みを、今後していただければと思う。(鈴木陽子様)

(4) その他

・夢育やらまいかCS加算分の報告

教頭より、夢育やらまいか事業のCS加算分の用途等について、別紙の資料に基づき報告があった。

※連絡事項

令和6年度第1回学校運営協議会予告

司会より、令和6年5月13日(月)14:30~16:00、南の星小学校会議室で開催する旨の報告があった。